

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
3	東京工科大学	メディア特別講義Ⅱ (ACPC 提携講座)	佐々木 和郎 メディア学部 教授 吉岡 英樹 メディア学部 講師	2	後期	火	14	13:15～14:55	東京工科大学 メディアホール	若干名

【到達目標】

「創作する・表現する・伝える」。こうしたアクティブな仕事について知りたいというモチベーションを持って「ライブ・エンタテインメント論」を受講し、これからの音楽業界や、ライブ・エンタテインメントの時代を生き抜く力を身につけます。
ラーニングアウトカム：音楽ビジネスの仕組みを理解し、音楽制作の実学的な理論を知る。実学に基づく専門能力とコミュニケーション能力を身につけます。また、音楽業界やライブコンサート業界における実践的な知識を学びます。

【授業の概要】

現在は音楽業界全体が大きく変化する時代です。音楽産業全体の展開において「ライブ・エンタテインメント」は、新しい市場開拓の中心として、その存在感を非常に強めています。ローリング・ストーンズやマドンナの例に見るように、世界中のアーティストが「CD販売による展開」から「ライブを中心とした360度ビジネス」へと転換を進めています。これは「より直接的な体験としての音楽を求める」観客側のニーズの現れでもあります。こうした時代状況を受けて本講義では「ライブ・エンタテインメント」に関連するさまざまなテーマを通じて、音楽産業全体のありかたを論じ、新しい時代を築くために必要な情報と知識を解説します。授業は、音楽業界ライブ業界での実務経験者をゲスト講師として迎え、現代におけるトピックを解説する実践的科目です。

【授業内容】

1. オリエンテーション / ライブ・エンタテインメント論を受講する皆さんへ
2. 誰にでも分かる音の楽しみ方 (音響工学)
3. Jポップからロックまで / デジタル時代の音楽
4. 都市における総合型エンタテインメント (ライブ事業)
5. 音楽の創造 / アーティストの立場から (音楽制作)
6. 生活の中のエンタテインメント (劇場経営と芸術の創造)
7. テレビ放送とライブ・エンタテインメント (映像配信)
8. 海外ビジネスへのチャレンジ (日本コンテンツの海外進出)
9. マネージメントの未来 (プロダクション経営展開)
10. 今日のライブ運営 (ライブ事業展開)
11. コンテンツ産業の将来を考える (経済産業省の政策方針)
12. ライブ・エンタテインメント新世紀 (音楽業界の再生と経済発展)
13. 音楽プロデューサーとは / クリエイティブ・マインドの育て方
14. 日本のコンテンツ政策 / 世界におけるジャパンコンテンツ

【成績評価方法】

期末試験は行いません。成績判定は、授業態度を平常点としてレポート評価点との両面から行います。
各回の講師の先生にむけて、事前に「質問」を集めます。講義内容について予習をして自分なりの興味や疑問を持って書いてください。この質問も小レポートとしての評価対象とします。
中間レポート+最終レポート：60ポイント / 質問や小レポート：40ポイント
(100点満点で、70点以上であること)

【教科書】

教科書の指定はありません、以下の「参考書」などの書籍を通じて予習して下さい。

【参考書、教材等】

- 「ライブ・エンタテインメント新世紀」北谷賢司 (ぴあ総研)
- 「ライブ・エンタテインメントの著作権」福井 健策 / 二関 辰郎 (社団法人著作権情報センター)

※ この授業は、9/27 (火) が初回です。ノート PC 必携。